



妙本寺出土備前焼壺・大甕 附 瀬戸褐釉印花文瓶子

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	みょうほんじしゅつどびぜんやきつぼ・おおがめ つけたり せとかつゆういん いんかもんへいし
所在地	吉備中央町北 妙本寺
指定年月日	平成10年3月24日
解説	昭和29年(1954)、本堂裏手の墓地整地中に五輪塔群の地下から出土した。壺(36点)は平安時代から室町時代に焼かれており、備前焼の流通と中世墓の埋葬形態を知ることができる。大甕は、高さ65cm、口径41cm、胴径62cm、底径33cmで室町時代の制作。瀬戸焼の瓶子(へいし)は鎌倉時代の酒器。
アクセス方法	岡山自動車道賀陽ICから車で約5分
公開状況	年2回(4月12日と9月12日)の大祭にて公開 [問い合わせ先]妙本寺 0866-55-5012
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	事前に連絡があれば、住職によりお寺の歴史等、御案内いただけるとのことです。